



介護の魅力と価値を高めるのはあなたです

介護福祉経営士 ニュース KFK News

2017
3.31
No.34

【介護福祉経営士 活動レポート Vol.4】
介護福祉経営士が実践した
効果のあった離職防止への取り組み

Part1

コンサルタント編

理念や方針の定義づけが 職員の「安心」につながる



CONTENTS

介護福祉経営士 活動レポート Vol.4	
介護福祉経営士が 実践した効果のあった 離職防止への取り組み	Part1
コンサルタント編	2
●合格者の声	
●2017年度 「介護福祉経営士」 資格認定試験案内	4
●全国介護福祉総合 フェスティバル開催決定	
●「介護福祉のみらい」 作文コンクール	5
●今月の「介護ビジョン」	
●今月の書籍紹介	6
INFORMATION	7
イベント掲示板	8

一般社団法人
日本介護福祉経営人材
教育協会



お問い合わせ先
一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会 事務局
☎ 03-3256-0571 <http://www.nkfk.jp>
制作:株式会社日本医療企画
編集・発行人:林 諄
〒101-0042 東京都千代田区神田東松下町17番地
もとみやビル3階



コンサル
タント編

理念や方針の定義づけが 職員の「安心」につながる

介護福祉経営士が実践した 効果のあった離職防止への取り組み

Part1

それぞれの職場における大きな課題である「離職」。
特に若手社員やベテランパートの離職は事業体の経営に大きなダメージを与える。
そこで、これまで介護福祉経営士の方々が実践し効果のあった離職防止策を提示する。
会員等の実務に役立てていただきたい。

介護職員の退職理由の1位は職場の人間関係に問題があったため(24.7%)、2位は法人や施設・事業所の理念や運営のあり方に不満があったため(23.3%)であった。2つの合計が全体の48%を占めていることから、世間で言われる「給与の安さ」や「業務の大変さ」よりも「人間関係」や

「法人の理念や方針」を理由としていることが分かる。

そこで、元特別養護老人ホーム事務長の経験を活かし、現在は税理士・コンサルタントとして各種セミナー講師等を務める藤尾智之氏に、現場主義に基づく「離職防止策」についてお話を伺った。

資格・職種・就業形態に左右されない 事業所の理念や方針の導入

——離職防止策として、「人間関係」に関しどのような取り組みを行い、効果がありましたか。

多くの介護施設や事業所では、狭い人間関係の中で仕事をします。そのため、健全な人間関係が構築できていないと、チームケアは成り立ちません。チームケアの実施には、介護職・看護職・リハビリ職・事務職などの複数の資格や職種との関係性は無視できません。さらには正社員やパート・嘱託などの就業形態の違いも複雑に絡んでいます。

そのため、資格・職種・就業形態に左右されない事業所の考え方(理念や方針)の導入こそがチームケアを実施させるための近道だと私は考え、実践してきました。まずは、今いるメンバー全員で考え方を統一し、日々それを目にする機会を設け、また、採用面接でもそのことを伝えるなどすれば、同じ考え方を持って働く気持ちの良いメンバーが徐々に増えていきます。

そのようなメンバー間では互いに注意や相談がしやすいため、結果として職場内でも個人レベルでも不満やストレスが溜まりにくくなります。

理念や方針は存在しているだけではだめ

——離職防止策として、「法人の理念や方針」に関しどのような取り組みを行い、効果がありましたか。

組織や集団は、一人ひとりがバラバラの状態では機能しません。また、介護と一口に言っても説明の仕方は十人十色です。だからこそ、法人の理念や方針を定める必要があります。理念や方針を定めることにより、その法人内や事業所内の考え方が言葉として定義づけされます。

理念や方針は存在しているだけではだめです。上司・リーダーの言動が法人の理念や方針に則っていることが重要です。そうすれば、シフトにより様々な職員と協働する

にしても、また世代間の開きがあっても理念や方針という定義があれば共通言語で話し合いができます。また、夜勤などで一人勤務になっても、定義という戻る場所があれば、落ち着いて考えられます。

もちろん事業理念を常に念頭に置いていても実務ではうまくできないこともあります。この場合も、一人で悩まずに上司や同僚とともに理念に基づいて話し合いを行い、答えを職場の総意とすることで、安心して仕事に従事できます。

職場内オリエンテーションが重要

——その他、効果のあった離職防止策をお教えてください

採用後は、新卒も中途も職種も問わずにきっちりと採用時研修を実施することが大切です(別枠内参照)。

そして、職場内オリエンテーションを時間をかけて行います。職場内オリエンテーションの例は、以下のようなものがあります。

●4ユニット×3日間(合計12日間)

●相談業務・・・1日

●デイサービス・・・5日間

●居宅介護支援事業・・・1日

●厨房・・・1日

●ナース・・・1日

1か月間、研修中(配属先未決定)という安心・安全な身分にしながら、すべての職場の雰囲気を感じ取り、先輩職員の行動や人柄を観察でき、自分と気の合いそうな相談のしやすい職員を見つけられ、ご利用者の顔や名前を記憶する時間にもなります。その結果、本配属の時はある程度全体を理解した上で業務の習得に集中できるという状態に到達することができます。

ここまで大切にしてもらっていると新人は感じるので、まずは辞めない。悩んだ時は気の合う先輩と飲みに行くなどしてストレス発散できるので、結果として離職率が下がるといえるようになります。

採用時研修内容

- 施設内見学
- ビジネスマナー(名刺交換、電話、接客、言葉遣い)
- 職場内コミュニケーション(報連相)
- 職員の心得、組織図
- 就業規則、給与規程
- 労働基準法、労働安全衛生法
- 所得税、社会保険料、給与明細の見方、マイナンバー
- 定款、運営規程、会計基準、情報開示

さらに、オリジナルの研修を実施する ※()は実施担当者

- うちの手洗い方法、衛生管理方法(衛生管理者)
- うちの献立、食事の考え方(栄養士)
- うちの契約・苦情処理の仕方(相談員)
- うちの介護方針・考え方(介護主任)
- うちの看護方針・考え方(看護)
- うちのケアプランの考え方(ケアマネジャー)
- うちの理念・ビジョン(管理者・施設長)

国家資格がなくても医療・介護業界に できることを追求していきたい



宮本 亜由美

●みやもと・あゆみ

株式会社マイナビ
紹介事業本部 第1営業統括部
介護福祉経営士2級

治療が行えない社会をつくりたくない そんな強い思いを抱いて

私が大学生の時、母が病気になり病院を受診したときの出来事がきっかけで、医療系の人材紹介に興味を持ちました。その医療機関は、医師の研修医制度変更の影響を受け、大学病院からの医局派遣止めによる医師不足となり、スムーズな診療活動が行えない状況でした。病院に行けば当たり前前に治療してもらえるとと思っていた私にとって、この出来事は治療が行えない社会をつくりたくないと思う動機になりました。

私たち人材紹介会社の営業は、転職希望者の面接に同行することがあり、さまざまな機能を持つ医療機関・施設と一緒に働きます。転職者が実際に働いている様子を見たり、採用担当者から「いい人を紹介してくれてありがとう」といわれることがやりがいです。人材紹介を通じて「法人と転職者のありたい姿」に少しでも近づけるようないい仕事ができたらと思っています。

「コアタイム」「軽量化・すぐ見られる」で 短期間でも合格を叶える

「介護福祉経営士」は、2018年の診療報酬と介護報酬ダブル改定までに医療・介護分野の知識をしっかりと身につけたらいいと思いき、受験を決めました。

受験申込みから受験日まで約1カ月という限られた時間しかなく、さらに、営業職のため急な外出や残業もあるので、「学習のために毎日継続的に時間をどうつくるか」、「どう効率的に勉強するか」がポイントでした。とはいえ、飲み会があったり、仕事に疲れてサボってしまったり……という日も。

なので、この時間は絶対勉強する！ という「コアタイム」を設定することにしました。具体的に、①日々のランチタイム、②会議前後や営業先への移動時間、③帰宅後すぐの30分、この3つの隙間時間は絶対に勉強すると決めて行いました。また土日に予定がなければ、4～6時間くらいは勉強したと思います。

日々、効率的に勉強するために工夫した点としては、今日勉強すると決めたテキストのページ分を携帯で写真にとって「軽量化・すぐ見られる状況」にしたことでしょうか。

「人」を通じて地域への貢献を目指す

私の2016年の目標は、「介護福祉経営士」「医療経営士」の2つの資格を取得することでした。無事目標は達成したので、今後は「社内での活かし方・情報の発信の仕方」を学ばせたいと思っています。

2025年に向けて地域医療構想が話し合われ、医療・介護領域にとって大きな変革期がすぐそこまで来ています。日本がどうなるのか不安な面が多いのですが、私としては「人材不足で治療やケアができない」という状況をなくしていきたい。これは、シンプルなのに業界が抱えている難しい課題です。

「人が足りないからできなかった」より「人がいるからこんなことができるようになった」という声とサービスを提供し続けたい。医療も介護も私たち紹介事業者も「人に宿る仕事」だと思うからです。クライアント(医療機関・施設)のありたい姿にわれわれ人材紹介会社は「人」を通じて何ができるかを考え、地域医療に貢献するパートナー企業を目指したいと思います。そして、個人的には「国家資格がなくても医療・介護業界に対してできること」を追求していきたいと思っています。

2017年度 「介護福祉経営士」資格認定試験のご案内

「介護福祉経営士」資格認定試験(一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会)の2017年度試験日程は下記の通り。

第13回 2級	第14回 2級 第4回 1級	第15回 2級
2017年 7月9日(日)	2017年 11月12日(日)	2018年 3月18日(日)

「介護福祉経営士2級」は年齢、学歴、国籍等の制約や保有資格、介護職の経験の有無にかかわらず受験することができる。「1級」は、「介護福祉経営士2級」の資格認定を受けること。試験に関する情報は、同会ホームページ(<http://www.nkfk.jp/>)にて随時公開していく。

■「介護福祉経営士2級」資格認定試験概要

受験料	8,000円(税込)	出題問数	40問
出題形式	多肢選択式、マークシート記入	試験時間	60分
受験資格	年齢、学歴、国籍等の制約はありません (成年被後見人および被保佐人でないこと)		
試験会場(予定)	札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・福岡		

介護福祉
経営士テキスト
のご案内

介護福祉経営士
1級試験 準拠

実践編 全11巻
価格:25,710円(税込)

介護福祉経営士
2級試験 準拠

基礎編 全10巻
価格:23,660円(税込)

開催決定

第2回

全国介護福祉 総合フェスティバル in 横浜

2017年
8月4・5日
開催!

地域社会における新たな介護文化の創造・発展を求めて
——今こそ必要な世代間の相互理解と融合

今年度の「全国介護福祉総合フェスティバル」開催が決定!
詳細は決定次第、当会ホームページ等にてご案内いたします。



作品募集中

第2回「介護福祉の未来」作文コンクール

一人ひとりの思いが、介護福祉の新たな未来を創ります。
これからの社会を担うみなさんの声を届けてください。

【趣旨】

将来を担う中学生、高校生が介護や福祉の大切さを知り、未来について考え発表する機会とします。

【募集期間】

2017年4月3日(月)～6月30日(金) ※郵送の場合は必着

【応募資格】

中学生、高校生の方

【テーマ】

以下のテーマ(課題)の中から好きなもの一つを選んで、あなたが感じることを、考えることを自由に書いてください。

- 介護や福祉に関する実体験等を通して感じたこと、考えたこと
- 自分の老後を想像して考えたこと
- これからの介護や福祉に関する私の意見

【応募方法】

- 1,200字以内(原稿用紙、ワープロ原稿、縦書き、横書き、いずれも可。書式自由)
- 必要事項を記入の上、以下のいずれかの方法でお申し込みください。送付先は最下段に記載しています。

① 郵送 ② メール送信(wordファイル添付)

※メールの場合、件名は「作文コンクール」と記載してください。

【必要事項】

- ① 郵便番号・住所 ② 氏名 ③ 年齢
- ④ 電話番号 ⑤ メールアドレス
- ⑥ 学校名・学部・学科・学年 ⑦ 作品タイトル

【表彰】

最優秀賞/優秀賞、他[賞状・副賞]

【審査】

日本介護福祉経営人材教育協会の指定する審査員により各賞を決定。

【発表】

8月3日(木)に日本介護福祉経営人材教育協会ホームページで発表予定。ならびに報道各社にプレスリリースを配信予定。

※8月4日(金)・5日(土)に横浜市内で開催する「第2回全国介護福祉総合フェスティバル」会場において、表彰式を行います(8月5日11時15分～(予定))。

【お問い合わせ・送り先】

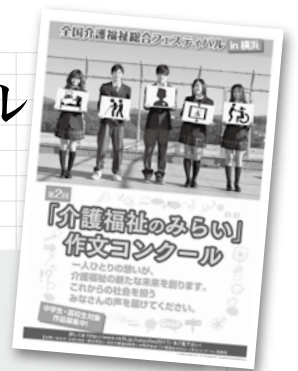
一般社団法人 日本介護福祉経営人材教育協会
「『介護福祉の未来』作文コンクール」事務局

〒101-0042

東京都千代田区神田東松下町17番地 もとみやビル3階

TEL.03-3256-0571(平日10:00～18:00)

メールアドレス:Kaigofes_sakubun2017@nkfk.jp



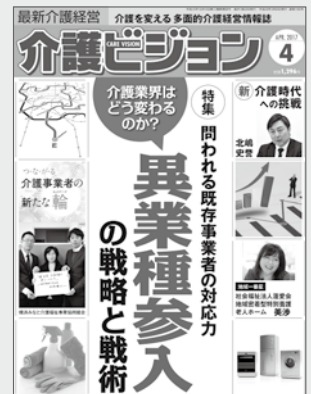
注目の!

特集

問われる既存事業者の対応力 異業種参入の戦略と戦術

介護分野への異業種参入が続いている。高齢者市場という有望マーケットに向けて、情報通信技術 (ICT) や住環境整備のノウハウを持つ家電メーカーや警備会社はもとより、コンビニ業界などでも既存店舗をサービス拠点として活用する動きが出ている。多様な業界が参入することに対し、介護事業者側はどう見ているのか。介護業界はどう変わるのか。本特集では、異業種からの参入の状況や、介護事業者がとるべきスタンスを探る。

巻頭の新企画「新・介護時代への挑戦～明日の日本を変える者たち～」は、株式会社エムダブルエス日高の北嶋史誉社長に、介護事業への熱い思いと未来の展望について語ってもらった。



2017年4月号
(2017年3月20日発売)

詳しくは

- 毎月20日発行
- 定価: 1,296円 (税込)
- 定期購読料: 15,552円 (税込)

今月の
書籍紹介

医療経営士実践テキストシリーズ6

これからの医療政策の論点整理と 戦略的病院経営の実践

戦略的思考力を磨き、収益力を上げる経営処方箋49

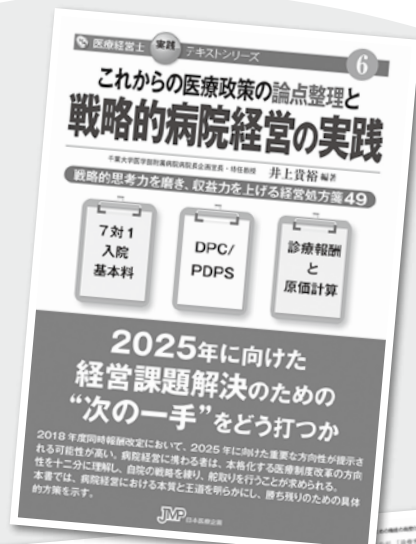
2025年に向けた経営課題解決のための“次の一手”をどう打つか

2018年度同時報酬改定において、2025年に向けた重要な方向性が提示される可能性が高い。病院経営に携わる者は、本格化する医療制度改革の方向性を十二分に理解し、自院の戦略を練り、舵取りを行うことが求められる。本書では、病院経営における本質と王道を明らかにし、勝ち残りのための具体的方策を示す。

井上 貴裕 編著

(千葉大学医学部附属病院病院長企画室長・特任教授)

- 体裁: / 並製本 / 2色 / 304ページ
- 定価: 本体価格3,000円+税
- ISBN: 978-4-86439-564-9



INFORMATION

理事会、支部、事務局からのお知らせをお伝えします



先端技術で介護業務のワークフローを一新 ICTによる経営とサービスの品質向上を提案

コ ニカミノルタ株式会社(本会賛助会員、本社=東京都千代田区)は、光学技術とセンサー技術、画像処理技術をICTで融合し、介護業務全般の効率化を実現する「ケアサポートソリューション」を開発。2月20日および3月9日に都内で開催した「戦略的介護経営セミナー」(共催=日本医療企画、後援=本会)で介護施設経営者らを対象に、「生産性向上を実現する介護業務イノベーション」と題するプレゼンテーションを行った。

このシステムは、従来のナースコールやマットセンサー、介護記録システムでは実現できなかった、介護業務全体の効率をめざして開発されたもの。介護スタッフは、居室の行動検知センサーで入居者の起床、離床等の通知時の映像をスマートフォンで確認できるので、無駄な駆けつけ移動がなくなるほか、夜間の安否確認も効率的に行えるようになる。また、転倒・転落時の記録映像により、事故発生時の原因究明、事故防止にも役立つ。さらにスマートフォンによるケア記録入力やバイタル機器との連携で記録作成時間が短縮、スタッフ同士の情報共有がリアルタイムでできるようになる。

このような一元管理によって介護業務のワークフローを変革した結果、同社が実施した運用評価によると、業務時間の約30%を削減することが可能になった。

業務効率が向上することにより、負担軽減による離職率の低減および雇用コストの削減、人員再配置による新たな収益源確保など、収益改善効果が期待できそうだ。また、介護スタッフの本来業務が手厚くなることで、ケアの品質向上やレクリエーションなどの充実による他施設との差別化も可能になる。

プレゼンテーションを行った三浦雅範・同社事業開発本部事業推進部長は、「ICTだけで介護の本質が改善するわけではない。現場で働く介護職員とテクノロジーが共生しなければ、利用者のQOL向上は実現できない」と述べ、介護施設の経営とサービスの品質の向上に貢献するICT導入の必要性を唱えた。

なお同セミナーでは、2月20日に元厚労省老健局長の宮島俊彦・岡山大学客員教授が「2018年度同時改定に向けたこれからの介護経営」、3月9日に本会理事の川淵孝一・東京医科歯科大学大学院教授が「介護事業をめぐる規制緩和と求められる経営イノベーション」をテーマに基調講演を行った。また、両日とも「介護施設におけるBCPの実例」をテーマに、海部二郎・株式会社奥村組東京支店建設営業部長が講演し、災害時における避難拠点としての地域貢献のあり方を提案した。



多くの参加者が詰めかけた「戦略的介護経営セミナー」会場

介護福祉経営士に必要な知識や情報が得られるイベントを、支部の研究会を中心に紹介。スキルを磨き、経営士同士が切磋琢磨できる場として人気の研究会も多いので、ぜひ参加しよう。

関西支部

医療経営士・介護福祉経営士 関西支部合同研究会 坪ゼミ 医療・介護現場の問題解決法

医療や介護の現場で日々発生するさまざまな問題を科学的な考え方・手法によって解決することは、問題再発を防ぐだけでなく仕事の効率を上げ、現場改善にチカラを発揮する。本ゼミでは仕事の質を向上させるための基本を学ぶ。

- 日時：2017年2月18日(土)、3月18日(土)、4月15日(土)、5月20日(土)
全4回14:00～17:20
- 講師：坪茂典氏(社会医療法人愛仁会本部介護福祉事業部長、社会福祉法人愛和会本部統括部長)
- 会場：新日本有限責任監査法人大阪事務所セミナールーム
(大阪府大阪市北区角田町8番1号 梅田阪急ビルオフィスタワー37階)
- 参加費：協会会員全4回10,000円 各回参加3,000円
- 定員：50名※定員になり次第、締切。
- 主催：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会
一般社団法人日本医療経営実践協会

お問い合わせ 日本介護福祉経営人材教育協会 関西支部
(株式会社日本医療企画 関西支社 内)
TEL.06-7660-1761

九州支部

史上最年少で日本介護福祉士会会長に就いた石本氏が語る!! 介護現場が活気づくりーダーとしての条件

史上最年少、44歳で日本介護福祉士会のトップに就いた石本淳也会長を招き、介護福祉士の育成についての考え、活気のある介護現場をつくるために、リーダーとして何をすべきか——を考える。

- 日時：2017年4月23日(日)14:00～16:00
- 講師：石本淳也氏(公益社団法人日本介護福祉士会会長、一般社団法人熊本県介護福祉士会会長、介護福祉・社会福祉事務所「Office Ishimoto」代表)
- 会場：日本医療企画九州支社セミナールーム
(福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目3-6 第三博多借成ビル503)
- 参加料：協会会員1,000円、一般2,000円※参加料は当日会場でお支払いください。
- 主催：日本介護福祉経営人材教育協会九州支部

お問い合わせ 日本介護福祉経営人材教育協会 九州支部
(株式会社日本医療企画 九州支社 内)
TEL.092-418-2828

日本医療企画

介護×ICTミーティング いま盛り上がる介護ICT化の実状と課題を探る

介護人材不足の深刻化により、業務効率化のためのICT活用は待ったなしの段階を迎えている。こうしたなか、介護事業者とソフト等開発者が一堂に会し、意見を交わし、議論を深めていくイベントだ。

- 日時：2017年4月24日(月)14:00～18:30
- 内容：
セッション①介護事業者側から「ICT導入の効果と課題」
セッション②介護ソフト等開発者側から
「システム開発と顧客満足度向上にむけた取り組み」
- 会場：日本医療企画もとみやセミナールーム
(東京都千代田区神田東松下町17番地もとみやビル3階)
- 参加費：協会会員2,000円、介護ビジョン定期購読者2,000円、一般3,000円
- 定員：50名※定員になり次第、締切。
- 主催：株式会社日本医療企画
- 後援：一般社団法人日本介護福祉経営人材教育協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画
TEL.03-3256-2885

日本医療企画

経営企画と広報を考える会 (4日目 職員のモチベーションを上げる院内広報)

地域医療で担うべき役割の明確化や地域づくりへの参画など医療機関が抱える課題を解決するためには、経営企画室と広報との協調が求められる。本会では、両者の協調により成功した事例をもつ医療機関から講師を迎え、経営企画と広報が担うべき実践活動について考える。

- 日時：2017年4月22日(土)14:00～16:00
- 講師：秋吉裕美氏(製鉄記念八幡病院経営企画室・係長)
- 会場：日本医療企画九州支社セミナールーム
(福岡県福岡市博多区博多駅南1丁目3-6 第三博多借成ビル503)
- 参加費：単回参加8,000円
- 定員：15名※事前申込が必要
- 主催：株式会社日本医療企画
- 後援：日本医療経営実践協会九州支部

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 九州支社
TEL.092-418-2828

日本医療企画

ヘルスケア・レストラン特別セミナー 結果につながる栄養経営実践セミナー

栄養経営の実践について、即効性のエネルギー源として注目を集めている中鎖脂肪酸の活用事例などを踏まえながら、臨床現場の第一線で活躍する管理栄養士をはじめとする専門職が解説する。

- 日時：2017年4月22日(土)13:00～17:00
- 内容：
講義1：真壁昇氏(関西電力病院栄養管理室室長、日本栄養経営実践協会理事)
講義2：宮島功氏(近森病院栄養サポートセンター主任・栄養経営士)
講義3：阿部咲子氏(介護老人保健施設スカイ・栄養経営士)
監修：宮澤靖氏(日本栄養経営実践協会代表理事)
- 会場：国民會館 武藤記念ホール(大阪府大阪市中央区大手前2-1-2)
- 参加費：協会会員3,000円、一般5,000円
- 定員：200名※定員になり次第、締切。
- 共催：ヘルスケア・レストラン(株式会社日本医療企画)
日清オイリオグループ株式会社
- 後援：一般社団法人日本栄養経営実践協会

お問い合わせ 株式会社日本医療企画 関西支社
TEL.06-7660-1761

介護事業経営研究会

ついに全貌が見えた! 平成30年介護保険法改正全解説!

介護経営に関わる今後の最新の動向を網羅する本講座は、介護事業に関わる全ての経営者が必聴。介護保険法の改正の話に留まらず、これからの介護経営に必要なポイントを介護事業特化の公認会計士が解説する。

- 日時：2017年4月20日(木)14:00～16:30
- 講師：横溝大門氏(税理士法人横溝会計パートナーズ代表社員)
- 会場：アレアア2アレアホール(東京都立川市柴崎町3-6-29)
- 受講料：一般2,000円、C-MAS会員1,000円
- 定員：40名※定員になり次第、締切。
- 主催：介護事業経営研究会 東京国分寺事務局

お問い合わせ 介護事業経営研究会 東京国分寺事務局
税理士法人横溝会計パートナーズ
TEL.042-321-9583

